

事業番号 新31 - 0001

平成31年度行政事業レビューシート（内閣府）									
事業名	地方創生インターンシップ事業				担当部局庁	政策統括官（経済財政分析担当）			作成責任者
事業開始年度	平成31年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし		担当課室	地方創生推進室			参事官 山下 洋
会計区分	一般会計								
根拠法令（具体的な条項も記載）	-				関係する計画、通知等	まち・ひと・しごと創生総合戦略（2018改訂版）（平成30年12月21日閣議決定） まち・ひと・しごと創生基本方針2019（令和元年6月21日閣議決定）			
主要政策・施策	地方創生				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	現在、東京圏は、約13万6千人の転入超過であり、若者の世代が多くの割合を占めている。本事業では、産学官の連携による地元企業でのインターンシップの実施を全国的に展開することで、東京圏在住の地方出身学生等の地方還流や、地方在住学生の地方定着を促進することを目的としている。								
事業概要（5行程度以内。別添可）	地方企業でのインターンシップに関して東京圏の大学等と地方公共団体間の連携の支援や情報の集約・発信を担うプラットフォームを運営する。また、地方企業における質の高いインターンシップの推進に向けた検討を行うとともに、受入れ企業の開拓等の際に活用できる資料の作成や全国での研修会の開催などを行う。 【地方創生インターンシップ事業（内閣官房0008）】								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 （単位：百万円）			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	56	20		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	56	20		
	執行額								
	執行率（％）		-	-	-				
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		-	-	-				
平成31・32年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目	31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由					
	地方創生支援委託費	49	18						
	情報処理業務庁費	6	2						
	職員旅費	0.4	0.4						
	計	56	20						
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	地方企業でのインターンシップを経験した学生数の増加	地方企業でのインターンシップを経験した学生の割合 ※計算式はデータの取得方法による。	成果実績	％	-	-	-	-	-
			目標値	％	-	-	-	-	-
			達成度	％	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名（出典）	※今後データの取得方法について検討する予定。								
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	地方企業でのインターンシップを経験した学生のうち、地方企業への就職を志向した者の増加	地方企業でのインターンシップを経験した学生のうち、地方企業への関心が高まった者の割合 ※計算式はデータの取得方法による。	成果実績	％	-	-	-	-	-
			目標値	％	-	-	-	-	-
			達成度	％	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名（出典）	※今後データの取得方法について検討する予定。								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込
	地方公共団体と首都圏の大学間の連携支援や情報の集約・発信等の回数	活動実績	回	-	-	-	-	-
		当初見込み	回	-	-	-	24	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込
	地方自治体等を対象とした研修会等の開催数	活動実績	件	-	-	-	-	-
		当初見込み	件	-	-	-	6	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	
	研修会等開催に係る経費(X)／研修会等への参加者数(y)	単位当たりコスト	百万円	-	-	-		
		計算式	百万円/人	-	-	-		
事業所管部局による点検・改善								
	項 目		評 価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	地方創生の重要課題である東京一極集中の是正に向けて、地方への新たなひとの流れづくりの一環として取り組む事業であり、社会のニーズを的確に反映している。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地方自治体や民間企業等が主体的に取り組む地元企業でのインターンシップ実施の裾野拡大を図り、地方への新たなひとの流れづくりにつなげるため、国として適切な情報支援等を行う必要がある。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	東京圏の約13万6千人の転入超過のうち、大半を10代後半、20代の若者が占めており、東京圏在住の地方出身学生等の地方還流等を目的とする当事業は、東京一極集中の是正に向け必要かつ適切である。 地方創生の重要課題である東京一極集中の是正に取り組む事業であり、優先度の高い事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。							
	競争性のない随意契約となったものはないか。							
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-					
	所管府省名	事業番号	事業名					
点検・改善結果	点検結果							
	改善の方向性							
外部有識者の所見								
-								

行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ適格に検証し、予算の効率的執行に努めるべき。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
縮減	事業の効率性の観点から、事業内容について見直しを行い、引き続き有効な事業運営について検討を行う。						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度	内閣官房（新30 - 0002）						
※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。							
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する） （単位：百万円）		内閣府 56百万円 ↓ 民間企業等					